

# 好きです!! にしわき わたしのふるさと

今、この時を輝いて生きる  
一次世代につなぐ、心豊かな人づくり、まちづくり—  
教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

## レントン市中学生親善使節団が来西

1969年(昭和44年)に姉妹都市となったレントン市(アメリカ合衆国ワシントン州)。毎年続いている中学生の相互ホームステイは今年で27年目を迎えました。レントン市中学生親善使節団は、今年も10月9日に来西し、市内観光をはじめ、さまざまな日本の文化を体験しました。

レントン市中学生親善使節団18名(団長および随員4名、中学生14名)が、10月9日に西脇市を訪れました。

18日までの10日間、レントン市を訪れた市内4中学校の中学生宅にホームステイ。中学校1日体験や旧来住家住宅・レントン通りなどの市内観光をし、西脇市での生活を満喫しました。

滞在中にはホストファミリーデーとして、ホームステイ先のお家で計画を立てていただき、有意義な日を過ごしていただきました。地域の秋祭りへの参加など、地域の皆さんとの触れ合いもあったのではないのでしょうか。

また、姫路観光や京都観光も行い、日本の文化や歴史にも触れてもらうことができました。また、姫路城では、ボランティアガイドの方に案内していただき、黒田官兵衛の

話を聞くことができました。

17日には各中学校に分かれて中学校1日体験を行いました。歓迎集会や書道、英語に体育(剣道)などの授業や給食など、日本での学校生活を体感する機会となりました。

レントン市中学生親善使節団だけではなく、市内の中学生にとっても外国に目を向ける、良い機会になったのではないかと思います。

■問合せ 学校教育課  
(市役所内線535)



▲西脇南中学校で書道に挑戦

## 心のスケッチ

71

## 人権教育室コラム

### 災害のたびに感じること

今年の夏、丹波市・福知山市における集中豪雨被害、広島市における土砂災害など自然災害の猛威を感じると共に、自然の前では人間の力の限界を感じざるを得ない自然災害が起こりました。そんな中、地元高校生のボランティア活動等のニュースは、私たちに行動力の素晴らしさと人としての温かさを感じさせてくれています。

1995年(平成7年)の阪神淡路大震災で多くの死者を含む被災者をだし、2万5千戸を超す住宅が失われてから、20年が過ぎようとしています。この地震から現在までは、台風23号による洪水被害、佐用町での集中豪雨被害や東日本大震災などの甚大な災害被害も繰り返して起こっています。

平成24年に内閣府が行った「社会意識に関する世論調査」において、「東日本大震災後に強く意識するようになったことは何か」という問いに対して、「家族や親戚とのつながりを大切に思う」が全体の62.7%と一番多く、二番目

には「地域のつながりを大切に思う」が59.6%と続いています。「まさか」とともに崩れ去り、失ってはじめてどれだけ大切なものだったか思い知らされた過去があり、災害が発生するたびに、私たちは、地域のつながりの大切さを再認識しているのです。

阪神淡路大震災での仮設住宅は無くなり、復興住宅へと変化しました。しかし、発生から20年を迎え、復興住宅からの退去を求められている方がおられるのも事実です。また、東日本大震災から3年半が過ぎましたが、復興への道は遠いのが現実であり、福島原発に関連する復興はスタートすらできていないと言っても過言ではないと感じています。

地域の人々が互いに助け合い、支え合える社会こそが、災害に強いまちであり、住みやすいまちへとつながっていくと信じています。皆さんとともに地域の縁を育てていくことができることを願っています。(人権教育室)

## あぐいこうん 75 自然の恵みを人から人へ



西脇市で生産される金ごま「日本のへそゴマ」も出荷時期を迎え、農家の地道な手作業が続いています。西脇市で金ごま栽培の取組を始めて7年になり、少しずつ認知度も広がりをみせてきました。

日本で最初の農家レストランといわれる枚方市の「杉・五兵衛」の野島さんは「自家製の金ごまを使うとなんとも良い風味が出て野菜料理を引き立てる」とおっしゃっています。

「おいしくて健康になれる」皆さんも家庭菜園などでごま栽培をしてみませんか? ◆問合せ 農林振興課市役所内線323

## 西脇市消費生活センター

☎22-3111(生活環境課内)

No.110

『携帯電話購入で融資します』にご注意!!

【事例】 ネット検索した金融業者に融資を申し込んだところ、スマートフォンとタブレット端末4台を購入し機器を送るよう指示された。ところが約束の70万円は融資されず、金融業者とも連絡がとれなくなった。スマートフォン等はすぐに解約したが、分割端末代金と解約料を請求されており支払えない。

このように携帯端末をだまし取られても、端末代金、通信料、契約解約料金は契約した本人が支払うことになります。支払わずにいると「料金滞納者」として携帯電話会社に登録され、自分の携帯電話も使用中止になり、新規契約もできなくなります。

また、自分名義で購入した携帯電話等を携帯電話会社に断りもなく第三者に転売することは法律で禁止されています。渡した携帯は振り込め詐欺やヤミ金業者に使われる可能性も高く、知らない間に犯罪に加担してしまう恐れがあります。借金返済にお困りの場合は、怪しい話には耳を貸さず、まずは消費生活センターにご相談ください。



来年以降の吉報を待ちましよう

## 市長からの手紙

西脇を元気に!!

10



西脇市長 片山象二

### 十倉好紀教授、近い将来のノーベル賞受賞を信じて!

10月7日にスウェーデン王立科学アカデミーがノーベル物理学賞を発表しました。西脇市出身で東京大学大学院の十倉好紀教授がその有力候補者として注目されています。十倉教授は、「高温超伝導」の理論や電圧で磁気的性質が変わったりする「マルチフェロイックス」という新材料の発明などの成果が世界中で評価されています。残念ながら今回は受賞を逃

されましたが、これまで積み重ねてこられた研究成果が人類や社会に与えている影響は計りしれません。

近い将来、十倉教授が必ずノーベル物理学賞を受賞されるものと信じ、今後のさらなる活躍をふるさとからお祈りいたします。また、この偉大な物理学者の後に続く人材が西脇市から輩出されるよう、子どもたちの夢や希望を育むとともに、教育環境の整備や基礎学力の向上に努めてまいります。

昨年11月に市長に就任してから間もなく1年がたとうとしています。これから、さまざまな課題を解決するための新年度予算編成に当たってまいります。引き続き市民の皆さんのご支援ご協力をよろしくお願いたします。このまちに生まれたことを誇れる「西脇市」をとともに創っていきましょう。